全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫

2025.10.2-

り継ぐため、今大会は震災をテーマ 逐げた。この経験と教訓を未来に語 米たし、街は驚異的な速さで復興を

喜造神戸市長から歓迎の言葉が贈ら 庫県知事によるビデオレター、 からちょうど30年の節目を迎える。

則会長は「今年は阪神淡路大震災 総合集会であいさつに立った今井

ら貴重なお話をうかがえます」と説

働安全衛生行政の動向について」の全衛生部長・安井省侍郎氏による「労

講演、神戸華僑總會舞獅隊によるア

トラクションが披露され、

大阪芸術

仲間意識で声掛け励行」。

芸設業界が復旧復興に重要な役割を 一戸の街は甚大な被害を受けたが、

臣、国土交通省の中野洋昌大臣の祝

来賓の厚生労働省の福岡資麿大

辞が読み上げられた後、齋藤元彦兵

特別講演「阪神淡路大震災30年 大学放送学科の住田功一教授による

# 国建設業労働災害防止大会 その行動は大丈夫 2025.10.2~10.3

盛大に開かれた総合集会

(兵庫) 大会の開催にあたり、

第62回全国建設業労働災害防止

形者不足、若手入職者の減少、高

界においても地震

気候危機によ

すとともに、被災された方々へ心 からお見舞い申し上げます。

事するすべての人々が健康で安全

全国建設業労働災害防止大会

ある職場環境を築くことが不可欠

で安心して働くことのできる魅

うとともに、「私な

こ題する<br />
講演や好事例の発表を<br />
に

2004年台風

23号災害と闘ったちはどのよう

建設業労働災害防止協会(建

た方々に心より哀悼の意を表しま

労働災害で尊い命を落とされ

を回すとともに、

業界が持続的に

**神高速道路の耐震** 

防災・減災の

自然災害部会に

の対応に苦慮

ていることか

発展するためには、

建設工事に従

取組み~つない

の課題に直面しています。こう る猛暑等の荒ぶる天候など、多く

に厳しい環境のなかでも日本経済

場で開催された。復興をテーマに初日は総合集会が催され、全国から ッド方式。大会スローガンは「その行動は大丈夫)一度止まって再確 4700人が集まった。今回も現地開催とオンライン配信のハイブリ 建設業労働災害防止協会(建災防)の第62回全国建設業労働災害防 たに自然災害部会を設け、体験者か ルド記念ホール、神戸国際展示 安全の誓い」が発せられた。 その後は厚生労働省労働基準局安

止大会が2日と3日、神戸市内のワー

対する表彰・顕彰基金による顕彰 義を紹介。続いて安全衛生功労者に 防止協会兵庫県支部長・三木健義氏 大会実行委員長の建設業労働災害 歓迎の意味を込めて大会の意

公会副実行委員長の細谷浩昭氏から

復興をテ 全国から47

発行所 日本工業経済新聞社

〒113-0022 東京都文京区千駄木3-36-11 話 03(3822)9211 FAX 03(3824)7955 URL:www.nikoukei.co.jp

支 局

さいたま/水戸/前橋 甲府/新潟/長野・松本

防止特集号

3 2 4

厚労相

国交相あいさつ文

全管連令和7年度全国大会 専門部会

上まって再確 大丈夫 一度 行」をスロー で声掛け励

労働災害のな い未来を築く

演会や研究発表**、** や好事例を学び、 最新の安全衛

業界が憧れの産業となるよう、今をさらに高める契機となり、建設 かす機会でもありま 生管理ノウハウ展示会を通じ 日々の業務に活 安全衛生意識

するため当日視聴できなかった他

6つの専門部会が同時進行

部会の発表も視聴し情報収集しな

集会、2日目の専門部会について

いという方のために、

の総合

もご利用いただきますようお願い

ノド配信を行いますので、こちら

げます。

「こう」となるよう、今

2日は、総合集

月6日~11月11日までオンデマ

参加できな め関係者が一堂に合めて活動の一つであり 新たにする場です ともに、「災害ゼロ 防止活動の大切さを この全国大会は

また、各種講 再認識すると 建災防の重要 会員をはじ 労働災害

ことを目的に なお、現地

一般社団法人

全国建設業協会

今 井 雅 則

東京都中央区八丁堀 2-8-5 (東京建設会館 6 階)

一般社団法人全国中小建設業協会

河崎

東京都中央区新富 2-4-5(ニュー新富ビル 2 階)

茂

〒104-0032 電話(03)3551-9396

### 一般社団法人 東京建設業協会

定しています。 展示場3号館」において、安全衛 後の写真を比較展示した「阪神・ 淡路大震災企画展」を「神戸国際 とでではます。 定しています。

綿と歴史を重ねてまいりました。 この第62回大会を、兵庫の地で開

業の中で一番多い状況にありま

の約3割を占め、依然として全産がら、建設業の死亡災害は全産業

災害防止5カ年計画」の目標達成

としましては「第9次建設業労働

こうした現状を踏まえ、建災防

開催いたします

の皆様の熱意と協力の下、毎年連 員をはじめ建設業に携わるすべて 5年に第1回を開催して以来、会 災防)が創立された翌年の一

建設業における労働災害は長期的

関係各位の地道な努力により

きこと - 」と題する基調講演を予

にのか - 災害時にトップがなす。

に減少傾向にあります。しかしな

乘京正弘

東京都中央区八丁堀 2-8-5(東京建設会館 3 階) 〒104-0032 電話(03)3552-5656(代)



一般社団法人 東京都中小建設業協会

渡邊裕之

東京都新宿区新宿 2-10-7 (TOMビル5階) 〒160-0022 電話(03)3356-7711



労働災害のない未来

ちょうど30年の節目を迎えます

において開会式、

安全の誓

の採択を行った終

今年は、

阪神・淡路大震災から

神戸の街は震度7の激震により甚

へな被害を受けましたが、 建設業

安全衛生部長様から

界は復旧・復興に重要な役割を果

にし、街は驚異的な速さで復興を

講演や、元NHK

生行政の動向につい

建設業労働災害防止協会 会長

米へ語り継ぐため、今大会では 逐げました。この経験と教訓を未

を演題とする特別講演を予定して若い世代にどう語り継ぐのか」 住田様に「阪神・淡路大震災30年

牛多発する自然災害に対応するた

新たに「自然災害部会」を設

安全衛生教育、低層例年開催している、

月3日には専門

展を開催いたします。また、近 

5時の対応等に携わった方々か い、災害の復旧・復興・防災や災

の発表や、行政担当ス部会では安全衛生

ます。また、建設業の担当官からの講話、低層住宅、コスモス低層住宅、コスモスに対策の好事例の対象の対象の対象の対象の対象が、出て、

貴重なお話をうかがいます。

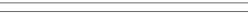
総合集会 令和8年10月8日(木)朱鷺メッセ 専門部会 令和8年10月9日(金)朱鷺メッセ

安全衛生保護具·測定機器·安全標識等展示会 同時開催!!

### **じ** 建設業労働災害防止協会

則

URL: https://www.kensaibou.or.jp/



### 東日本建設業保証株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-8-5

新宿・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・ 栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨・長野・新潟・ 富山・石川・福井・静岡・愛知・岐阜・三重・大阪

建設産業図書館 〒104-0045 東京都中央区築地 5-5-12 浜離宮建設プラザ1階



〒104-0041 電話(03)5542-0331

URL: https://www.zenchuken.or.jp/

Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety

理事長 近藤昌三

東京都中央区日本橋小伝馬町 15-18 〒103-0001 電話(03)3639-0641 URL: https://www.kasetsuanzen.or.jp



人を大切に育てるシステムです 事業者・技能者みなさまのご登録をお願いします



理事長 谷



建設産業と、ともに歩みつづける

本 社 〒104-8438 東京都中央区八丁堀 2-27-10 東京建設会館 8 階 TEL 03-3551-9511 FAX 0120-027-036

## その行動は大丈夫 ・度止まって再確認 仲間意識で声掛け励行

ずもってお慶び申し上げます。 得て盛大に開催されますことを、ま 防止大会が、 本日、第62回全国建設業労働災害 多くの皆様の御参加を

彰を受けられる皆様には、 こられた御功績により、 災害防止活動に精力的に取り組んで また、長年にわたり我が国の労働 建設業における令和6年の労働災 い申し上げます。 栄えある表 心よりお

の減少に向け、

なお一層のご努力を

さて、全産業における死亡者数

は憂慮すべき事態であり、労働災害

と、4年連続の増加となりました。 少となりましたが、休業4日以上の おり、令和6年は13万5718 死傷者数は、近年増加傾向が続いて るものを除いて、746人と過去最 こうした状況を踏まえ、厚生労働 新型コロナウイルス感染症によ

害で亡くなられた方は、232名 害発生状況を見てみますと、労働災

前年より9名増加しています。

ロナウイルス感染症によるものを除

休業4日以上の死傷者数は新型コ

して565人減少しています。

国土交通大臣

中

洋昌

省では、第1次労働災害防止計画に

防止に真摯に取り組まれてきた成果 協会や関係者の皆様が、労働災害の であります。他方で死亡災害の増加 死傷災害が減少したことは、今井 建設業労働災害防

事業場に拡大することとします。 性・有害性情報の通知義務違反に対 防止対策等の推進については、危険 する罰則の強化等を行います。

防止の促進等については、ボイラ 部や製造時等検査について、民間の 4つ目、機械等による労働災害の クレーン等に係る製造許可の

推進については、必要な措置の実施

祈念いたしまして、

強化に必要な制度改正も進めていま 成立した改正労働安全衛生法及び よる取組とともに、 業環境測定法について、 まずは、今年の通常国会において

介させていただきます。 全衛生対策の推進については、 者等による災害の防止を図るため、 者と同じ場所で作業を行う個人事業 1つ目、個人事業者等に対する安

策の推進については、ストレスチェ べき措置を定めます。 圧文者等や個人事業者等自身が講ず 2つ目、職場のメンタルヘルス対

ックの実施義務の対象を50人未満の 化学物質による健康障害

労働災害防止の

労働災害防止へ制度改正

します。

厚生労働大臣

福尚

資磨

簡単にご紹 いては、死亡者数が3年連続で30人 以上となっている状況等を踏まえ、 します。 さらに、職場における熱中症につ

等を義務付けたところです。 者を早期に発見するための体制整備 労働安全衛生規則を改正し、事業者 て、積極的な周知にご協力いただき に対し、熱中症のおそれがある作業 こうした制度改正の内容につい

ようお願い申し上げます。

転落」が最多となっています。 労働安全衛生規則に基づく墜落・転 4月に全面施行となりました、改正 型別で見ますと、依然として「墜落・ 建設業における労働災害を事故の

様に改めて敬意を示しますととも 災害防止協会をはじめ、 落災害の防止対策をはじめ、「手す り先行工法等に関するガイドライ に御尽力いただきました建設業労働 ノ」の遵守もあわせてお願い申し上 結びになりますが、本大会の運営 関係者の皆



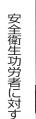






久元喜造神戸市長





# 安全衛生功労者に対する表彰・顕彰





# 持続可能な建設産業へ

ることを真摯に受け止める必要があ

また、厳しい猛暑となる夏季の熱

万が労働災害により亡くなられてい

国交省・平嶋壮州氏

 月々が安全に作業できる環境整備も 中症対策をはじめ、建設現場で働く

として表彰や顕彰を受けられる皆様 功労・功績のあった安全衛生功労者 に対し、 また、労働災害防止活動に顕著な 感謝申し上げるとともに、

果たしています。 働災害のない、安心して働ける環境 様にとって安全な現場を確保し、 であるためには、建設業に携わる皆 ばれる魅力的な産業として持続可能 建設業が、次代を担う若者から選

害発生状況は232人となってお を築いていくことが欠かせません 令和6年の建設業における死亡災

厚く御礼申し上げます。進に格別のご理解とご協力を賜り、

また、平素より国土交通行政の推

でいただいており、改めて深く敬意に長年にわたって積極的に取り組ん下、建設業における労働災害の防止

会が開催されますことを心よりお慶

第62回全国建設業労働災害防止大

建設業労働災害防止協会の皆様に

「人命尊重」という基本理念の

手」や災害対応の最前線を担う「地 心よりお祝い申し上げます。 域の守り手」として、 建設業は、 「社会資本整備の担い 重要な役割を

進めてまいります。 衛生対策に必要な経費が下請負まで 事従事者の安全及び健康の確保に関 る方々の安全確保に向け、 確実に行き渡るための 取組を着実に する基本的な計画」に基づき、安全 国土交通省では、建設工事に携わ 加えて、処遇改善についても、改 「建設工

を積極的に進めてまいります。 を新たに作成するなど、必要な取組 を実現するため、「労務費の基準」 の確保と能力に応じた賃金の支払い 止建設業法に基づき、適正な労務費

せていただきます。 位のますますのご発展、 結びに、本大会の成功と、関係各

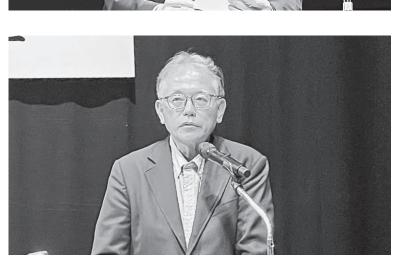
齋藤元彦兵庫県知事

細谷浩昭大会副実行委員長

住田功一教授

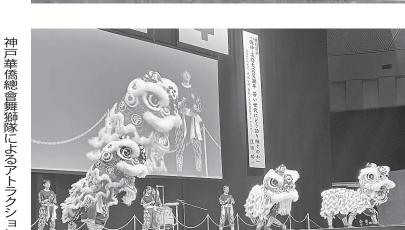








三木健義大会実行委員長



神戸華僑總會舞獅隊によるアトラクション

5 16

### 全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫 第62回

# 一然災害部会を設置

宅の各部会に加えて、阪神淡路大震災から30年を迎えたことから自然災2号館で実施された。今回は建築、土木、安全衛生、コスモス、低層住全国建設業労働災害防止大会の専門部会が、3日に神戸国際展示場1・ の中貝宗治氏が「私たちはどのように2004年台風23号災害と戦った件だった。基調講演は豊岡アートアクション理事長・元兵庫県豊岡市長 木13、安全衛生教育13、低層住宅13、コスモス5、自然災害4の合計61害部会を設け、災害に対する意識喚起を促した。研究発表は建築13、土 -人におよんだ台風被害について当時の状況や対応などを語った。 災害時にトップがなすべきこと―」のテーマで、市長時代に死者が われた。続いて9時10分から1

保護具測定機器・安全標識等展示会は2日 かれ、多くの企業が出展し賑わっていた。 に続き、3日も神戸国際展示場3号館で開 専門部会プログラムは各会場で午前8時 建設業労働災害防止協会主催の安全衛生

究発表、講和、講演、基調講演で構成した。 ら担当者を招いた。安全衛生部会では厚労 講和は今年も厚生労働省と国土交通省か トした。今回のプログラムは、研

49分に開場し、9時から開会あいさつが行 一回目の発表

速道路の耐震・防災・減災の取り組み―

策室長の船井雄一郎氏の「労働災害防止に省労働基準局安全品質部安全課建設安全対 長の近藤陽介氏による「建設業を取り巻く 速道路常務執行役員の谷田豊氏の「阪神高 現状と国土交通省の取り組み」だった。 建設振興課専門工事業・建設関連業振興室 向けた最近の厚生労働省の取り組み」、 木部会では国土交通省不動産・建設経済局 講演は自然災害部会で行われた。阪神高

ないでいく1・17一」で当時を振り返った。

門 部 会 専





建設業労働災害防止協会



【安全衛生部会】厚労省 【安全衛生部会】厚労省



















展示会の様子

# のための安全衛生経費の重要性

【土木部会】国交省

【建築部会】前田建設工業関西支店

福光哲郎氏

近藤陽介氏

建設労働災害撲滅

全国

### 基本計画 働災害防止計画 定され、基本法の規定に基づき、23年6 変更として改正されました。 方、23年度にスター (原計画)は17年6月に閣議決 防 期間をみると

ゆる議員立法です。基本法実施のための 保の推進に関する法律」(通称・建設職 をもって衆参両院を通過・成立したい 人基本法)が2016年12月に全会一致 「建設工事従事者の安全及び健康の確

基調講演

豊岡アートアクション理事長

建設業全体の死亡者数は 年比9人増)と一転増勢に転じました。 の、24年の建設業死亡者数は232人(前 うち「墜落・転落」は86人と減少、近年 方を除く)を見ると、建設業は223人 初年(23年)の死亡災害の状況(一人親 の状況に比べ大きな改善がみられたもの は前年と比べほぼ ての速報値では、 建設業においての資材費や運搬費が高騰

仮設安全事業協同組合 専務理事 東尾 した第14次労 %とここ数年で特に多くなっています。 死亡者数は61人と前年同時点比11人増と 横ばいでしたが、「墜落・転落」による 建設業全体に占める割合は44・2

があると思われます。特にデフレ経済下 分に確保されていないことに大きな原因 正されてきましたが、依然として災害実 から脱しつつある日本の物価、とりわけ 態が足踏みしている大きな理由の一つは に振り向ける経費(安全衛生経費)が十 『制度あって担保なし』。つまり、安全 この間、基本法の基本計画や省令が改 正労務費を確保する重要な柱として、

わ寄せされ、十分な安全衛生経費が確保し、結果、安全維持のための労務費にし できないという問題が急浮上してきまし

す。

労務者処遇改善の政策目標としていま め、建設業法を改正して「適正な労務費 正建設業法施行を控えた今年末にも、そ の確保とその行き渡り」を軸とした建設 の内訳明示を「必要経費」として位置づ す。その中にあって、安全衛生経費は適 政府は、このような状況に危機感を強 歩は、安全衛生経費の確かな受取りから

ける方針を示しています。

始まるのです。

の取扱いを明確とするという国の方針に取り残されてきたこの「安全衛生経費」 員企業のみならず、元請、注文者の協議 呼応して、「仮設工事業における標準見 のもと、日本の建設請負契約において大 積書」を作成し、国土交通省に提出: いに普及していくことを期待するもので しました。今後、この標準見積書が組合 当組合としては、永らくの課題として

現場から労働災害を撲滅していくべき 日々の実践が期待されます。日本の建設 工事において、必ず安全衛生経費を計上 うたわれたという歴史があります。 する』という強い意志のもと、組合員の 建設職人基本法第10条において、 初めて安全衛生経費の適切な確保が 請負



時期をずらし実施した。大会後、記念 催していたが、本年は全国大会単独で

全国各地から会員各社

きさまざまな場を通じて、

声を上げて 引き続

めなければならない」と語った。

たれている。この結果を真摯に受け止

斎藤佑樹氏がパネリストとして登壇

危険の3Kのイメージが持

りに確実に生かしていくため、

**ホテルで令和7年度全国大会を開催** 

24日

例年7月に通常総会とあわせて開

いる。

本会の組合員が現場で感じた教

いて、今後の災害復旧対策づく

た調査では、

管工事業に対してきつ

た。若年者に入職促進上の課題で聞

旧対応を再考する必要性を強く感じて

勃発する自然災害に触れ「今、

災害復

あいさつに立った藤川幸造会長は、

た喫緊の課題である後継者問題につ

ては「組合数はピーク時の2万300

1万4000社まで減少

ら約750人が集った。

### C事業協同組合連合会 令和7度全国大会

# 安心して働ける環境整備



引き起こす自然災害により、河川の氾 をはじめ、多数のご来賓の方々にご臨 力されている会員企業や関係各位に深 被災された皆様に心よりお見舞いを申 など、甚大な被害をもたらしました。 濫や土砂災害、広範囲に及ぶ浸水被害 席いただきまして、かくも盛大に全国 **大会を挙行することができますこと** に、先ずもって厚く御礼申し上げます。 さて、本年も全国各地で気候変動が 北海道知事様、 札幌市長様

本日は、北海道札幌市にて令和7年

かりませず、国会議員りにこれ、かかのませず、国会議員りにこれ、

考する必要性を改めて感じています。 年8か月を経た今、災害復旧対応を再

たりまして、多大なるご尽力を賜りま

した北海道管工事業協同組合連合会の

分離開催のご決断、本大会の開催にあ

今後も、本会の組合員が現場で感じた

続きさまざまな場を通じて、声を上げ

守る、

水と氷と管工事の未来」をテー

本年度の全国大会では、「北の夢を

マとして掲げています。私たち管工事

くりに確実に生かしていくため、引き

教訓について、

今後の災害復旧対策づ

佐藤会長をはじめ、

関係者の皆様方に

く敬意を表します

令和6年能登半島地震から

様に厚く御礼申し上げます。 全国各地よりご参集いただきました皆 りに思っております。ご多忙のなか、 度全国大会を、このように盛大に開催 できますことを心より嬉しく、また誇

常総会と全国大会を分離して開催する こととなりました。分離開催は、 本会で初となりますが、通 在であることに、

少子高齢化、 私たちの業界を取り巻く環 人材不足、資材

すとともに、 ご来賓の皆様に重ね

改めて誇りを持ちた りません。 界全体が持続可能な発展を遂げるため これら山積する課題を乗り越え、

で安全な生活環境の実現に不可欠な存 いかなる時代においても、快適

適で安全な生活環境実現 全国管工事業協同組合連合会会長 藤川幸造 する重要なライフラインを担っており 生設備といった、人々の暮らしに直結

この結果を真剣に受け止めなければな

業務に活かせると す。本大会を通じて 知見や経験を共有で ただけることを願 結びに、本日が

上下水道、冷暖房、給排水衛 因であるという調査結果がでました。 メージが持たれていることが大きな要

題を聞いた調査では、管工事業に対少しています。若年者入職促進上の て「きつい・汚い・危険」の3Kの す。中でも管工事業界において最も大 きな課題である後継者問題は深刻で など、多くの課題に直面しておりま 全管連組合数は、 年)で2万3000社ほどありま 万4000社まで減 ピーク時(20 たいと思っています 良い方向へ進むと

役員を中心としたも 全管連本部として記 性について議論して 確な対応を図るとと ものでありませんご を設け、業界の将立 様が安心して働け との連携を深め、 連が果たすべき役 になっております また現在、 全管連









五十嵐隆広報担当副会長







秋元克広札幌市長

による記念講演も う「命の水」、守ろう「ライフライン」 加速化を働きかけよう、 未来を見据え、

視市で全国大会開

夢を守る、 ストの田中雅美氏、元プロ野球選手の を開催。北海道ゆかりのアスリ を推進しよう、の大会スローガン採択 ストの清水宏保氏、競泳五輪銅メダリ テーマとするパネルディスカッション 1・老朽化した水道施設・管路の更新 閉会後には記念講演として、 スピードスケ 水と氷と管工事の未来」 誇りある業界づくり の五輪金メダリ を



パネルディスカッション



## 全国管工事業協同組合連合会

地域に根ざし、水道の安心・安全確保に貢献

略称・全管連(国土交通大臣認可団体)

令和7年度 全国大会 スローガン

- ・災害時に届けよう「命の水」、守ろう「ライフライン」
- ・老朽化した水道施設・管路の更新加速化を働きかけよう
- ・地域・人・未来を見据え、誇りある業界づくりを推進しよう